

高校1年生の女子(平成21年4月2日～平成22年4月1日生まれ)と
その保護者の方へ

無料で接種できるのは
今年度が最後です！

HPV ヒトパピローマウイルス 感染症予防接種のお知らせ

最近よく耳にするHPVワクチン。
接種した方がいいのかな...



そんな皆さんに知ってほしい、
HPVワクチンのこと。

HPVワクチンとは

子宮頸がんの原因になる
ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンです。

ヒトパピローマウイルス(HPV)とは？

- ・性交経験のある女性であれば **50%以上** が一度は感染するとされているウイルスです。
- ・**子宮頸がん**をはじめ、肛門がん、膣がんなどのがんや、尖圭コンジローマ等多くの病気の発生に関わっています。

子宮頸がんとは？

- ・日本では毎年、**約1.1万人**の女性が子宮頸がんにかかり、**約2,900人**の女性が子宮頸がん で亡くなっています。
- ・また、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがん で、患者さんは20歳代から増え始めます。30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に **約1,000人** います。

期間

令和8年3月31日まで

金額

無料 (3回接種の場合、本来 約10万円かかります)

接種回数

合計**3回**(標準で**6か月**)が必要です。

無料で3回接種をするためには、**1回目のワクチン接種を9月末までに**
完了させましょう。上記の方法で接種できない場合、1回目の接種から**最短4か月**
で接種を完了することができます。(9価ワクチンの場合)
接種スケジュールに関して、無理のない接種となるよう医師とご相談ください。

裏面もチェック！

※このお知らせは、令和7年5月現在の住民基本台帳に基づいて送付しております。すでに、岐阜市外へ転出されている場合はご容赦ください。

1 接種を受けたいと思ったら

医療機関を検索して
まずは予約！



こちらに説明書も掲載しています。接種する前に読んでおきましょう！

市外・県外で接種する場合はこちら→

- 市外で接種する場合は、接種時に岐阜市の発行した予診票が必要です。
 - 県外で接種する場合は、事前に申請が必要です。
- 詳細はお問い合わせください。



▲市外で予防接種を希望される方へ

2 接種時に必要なもの

- 母子健康手帳
- 予防接種予診票(オレンジ色)
- 岐阜市の住所、氏名、生年月日がわかるもの

Q：どうして母子手帳が必要？

A：これまでの接種記録の確認や、今回の接種を記録するために必要です。必ずご持参ください。

Q：予診票をなくした！

A：岐阜市内の委託医療機関にもあります。予約時にお申し出ください。

3 接種前の注意

以下の人は接種を受けることができません。

- 明らかに発熱(通常37.5℃以上をいいます。)がある人
- 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- その日に受ける予防接種の接種液に含まれる成分で、アナフィラキシー(通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。)を起こしたことがある人
- その他、医師が不適当な状態と判断した場合

子宮頸がんで苦しまないために

できることが **2つ** あります。
HPVワクチン接種後、将来は検診を！

- ① HPVワクチン ▶ HPVの感染を予防します。
- ② 子宮頸がん検診 ▶ がんの早期発見につながります。
▶ 20歳以上になったら、定期的に検診を